

主な経口非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) 一覧表

監修:独立行政法人 国立病院機構 西多賀病院 リウマチ疾患研究センター長 齋藤 輝信 先生

●COX-2選択性と化学構造によるNSAIDsの分類

主な薬理作用		分類		一般名		
プロスタグランジン (PG) 生合成阻害作用	COX-2 選択的	エノール酸系	オキシカム系	メロキシカム (モービック)		
		酢酸系	ピラノ酢酸系	エトドラク		
		コキシブ系		セレコキシブ		
	COX-2 非選択的	プロピオン酸系		ロキソプロフェンナトリウム水和物 (ロキソニン)		
				ザルトプロフェン		
				ブラノプロフェン		
				オキサプロジン		
				チアプロフェン酸		
				ナプロキセン		
				イブプロフェン		
		エノール酸系	オキシカム系	ロルノキシカム		
				アンピロキシカム		
				ピロキシカム		
				酢酸系	フェニル酢酸系	ジクロフェナクナトリウム
						ナブメトン
インドール酢酸系	インドメタシン ファルネシル					
	スリンダク					
インドメタシン						
イソキサゾール酢酸系	モフェゾラク					
	カルボン酸系	アントラニル酸系	メフェナム酸 (ポンタール)			
サリチル酸系		アスピリン				

主な経口非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) の剤形およびPTP包装写真

COX-2選択的

オキシカム系

モービック
(メロキシカム)
日本ベーリンガー＝第一三共

5mg
CS

10mg
C10

酢酸系

オステラック
(エトドラク)
ワイズ＝あすか製薬＝武田

100mg
OST100

200mg
OST200

ハイベン

(エトドラク)
日本新薬

100mg
116

200mg
117

コキシブ系

セレコックス
(セレコキシブ)
アステラス＝ファイザー*

100mg
214

200mg
215

COX-2非選択的

プロピオン酸系

ロキソニン
(ロキソプロフェンナトリウム水和物)
第一三共

68.1mg (実量等として60mg)
SANKYO 157

ソレトン
(ザルトプロフェン)
日本ケミファ

80mg
NCP114N

ペオン
(ザルトプロフェン)
セリア新薬

80mg
101

ニフラン
(プラノプロフェン)
田辺三菱

75mg
Y-NF75

アルボ
(オキサプロジン)
大正＝大正富山

100mg
T 71

200mg
T 72

スルガム
(チアプロフェン)
サノフィ＝アベンティス

100mg
RU009K

200mg
RU009U

ナイキサン
(ナプロキセン)
田辺三菱

100mg
TA124

ブルフェン
(イブプロフェン)
科研

100mg
6x21

200mg
6x22

COX-2非選択的

オキシカム系

ロルカム
(ロルノキシカム)
大正＝大正富山

2mg
T742

4mg
T744

フルカム
(アンヒロキシカム)
ファイザー

13.5mg
F45

27mg
F46

フルカム
(アンヒロキシカム)
ファイザー＝大正富山

13.5mg
F45

27mg
F46

バキソ
(ヒロキシカム)
富山化学＝大正富山

10mg
BX A 10

20mg
BX A 20

酢酸系

ボルタレン
(ジクロフェナクナトリウム)
ボルタレン製薬
ボルタレン製薬 同社＝ノバルティス

25mg
CG 301

37.5mg
CG 306

レリフェン
(ナブメトン)
三和化学

400mg
Sc102
(PTPに収載)

インフリー/インフリーS
(インドメタシン ファルネシル)
エーザイ

100mg
E 235

200mg
E 242

クリノリル
(スリダク)
日医工＝杏林

50mg
NM8940

100mg
NM8943

インテバンSP
(インドメタシン)
大日本住友

25mg
302

37.5mg
303
(包装に収載)

ジソベイン
(モフェソラク)
田辺三菱

75mg
Y-DS75

アントラニル酸系

ボンタール
(メフェナム酸)
第一三共＝ファイザー*

125mg
P-D536

250mg
P-D540

250mg
P-D444

塩基性 (非酸性)

ソランタール
(チアラミド塩塩基)
アステラス

50mg
351

100mg
311

〈表示についての解説〉

商品名
(一般名) 会社名*

モービック
(メロキシカム)
日本ベーリンガー＝第一三共

主成分含有量 → 5mg
CS

10mg
C10

識別コード
(数字・アルファベット・
記号のみ表示)

◎会社名:
2社以上の表記については、前社が
製造販売承認取得会社、後社は販
売会社であることを示しています。
(出典:平成21年6月版 保険薬事典)
ただし◎のついた会社は販売会社
ではありませんが、HP上に添付文書
情報が掲載されている販売提携会
社です。

○この一覧表は、主な経口NSAIDsに
ついて掲載しているため、すべては
網羅していません。
○この一覧表はCOX-2選択性と化学
構造別に分類しています。
○錠剤・カプセルは原寸大で掲載して
おりますが、PTP包装はスペースの
都合上縮小しています。
○色調は印刷のため実際のものと
多少異なります。
○各薬剤の剤形等は、2009年7月1日
現在のものです。

効能・効果、用法・用量、用法・用量
に関する使用上の注意、警告、禁忌、
原則禁忌を含む使用上の注意等の
詳細は、各製品添付文書をご参照
ください。

主な経口非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）の一般名、効能・効果等

分類				主要製品名(販売会社)	一般名	剤形(mg)	用法・用量[成人1日用量(mg)]*	効能・効果										発売年
								関節リウマチ	変形性関節症	腰痛症	肩関節周囲炎	頸肩腕症候群	抜歯後の消炎・鎮痛	手術後ならびに外傷後の消炎・鎮痛	急性上気道炎の解熱・鎮痛	その他の消炎・鎮痛		
COX-2選択的	酸性	エノール酸系	オキシカム系	モービック [®] (第一三共)	メロキシカム	錠(5,10)	分1 食後10(増減)、最高量15	●	●	●	●	●						2005 (カプセル:2001)
		酢酸系	ピラノ酢酸系	オステラック [®] (あすか製薬) ハイベン [®] (日本新薬)	エトドラク	錠(100,200)	分2 朝夕食後400(増減)	●	●	●	●			●			頸腕症候群、腱鞘炎	1994
		コキシブ系		セレコックス [®] (アステラス(ファイザー))	セレコキシブ	錠(100,200)	分2 朝夕食後200 関節リウマチ:朝夕食後200~400	●	●	●	●	●					腱・腱鞘炎	2007
COX-2非選択的	酸性	プロピオン酸系		ロキソニン [®] (第一三共)	ロキソプロフェナドナトリウム水和物 [®] (P)	錠(60) 細粒(10%)	分3 180(増減)、頓用:60~120/回(増減) 空腹時は避ける	●	●	●	●	●	●	●	●*		歯痛	1986
				ソレトン [®] (日本ケミファ) ベオン [®] (セリア新薬)	ザルトプロフェン	錠(80)	分3 240、頓用:80~160/回	●	●	●	●	●	●	●				1993
				ニフラン [®] (田辺三菱)	ブラノプロフェン	錠(75)	分3 食後225(増減)、頓用:75/回 痛風発作:450~675、その後翌日から225(食後)	●	●	●		●	●	●	●*		歯根膜炎、痛風発作	1988
				アルボ [®] (大正薬山)	オキサプロジン	錠(100,200)	分1~2 400(増減)、最高量600	●	●	●	●	●		●			変形性脊椎症、痛風発作	1985
				スルガム [®] (サノフィ・アベンティス)	チアプロフェン酸	錠(100,200)	分3 600(増減)、頓用:200/回(増減)	●	●	●	●	●		●	●*			1984
				ナイキサン [®] (田辺三菱)	ナプロキセン	錠(100) カプセル(300)	分2~3 300~600(増減) 空腹時は避ける 痛風発作:初回400~600(増減) 頓用および外傷後・術後初回には300(増減)	●△	●△	●△	●△	●△	●	●			痛風発作、強直性脊椎炎、腱・腱鞘炎、 月経困難症、帯状疱疹(いずれも△)	1978
				ブルフェン [®] (科研)	イブプロフェン	錠(100,200) 顆粒(20%)	分3 600(増減) 空腹時は避ける	●						●	●*		関節痛及び関節炎、神経痛及び神経炎、背腰痛、 頸腕症候群、子宮付属器炎、月経困難症、紅斑 (結節性紅斑、多形滲出性紅斑、遠心性環状紅斑)	1971
	中性	エノール酸系	オキシカム系	ロルカム [®] (大正薬山)	ロルノキシカム	錠(2,4)	分3 食後12(増減)、最高量18 手術後、外傷後および抜歯後の消炎・鎮痛: 頓用8/回、最高量24、3日を限度 空腹時は避ける	●	●	●	●	●	●	●				2001
				フルカム [®] (ファイザー)(大正薬山)	アンピロキシカム [®] (P)	カプセル(13.5,27)	分1 食後27(減)	●	●	●	●	●						1994
				バキソ [®] (大正薬山)	ピロキシカム	カプセル(10,20)	分1 食後20(減)	●	●	●	●	●						1982
		酢酸系	フェニル酢酸系	ボルタレン [®] 、ボルタレンSR [®] (リフタス) ナポールSR [®] (久光)	ジクロフェナクナトリウム SRカプセル(37.5)	錠(25) SRカプセル(37.5)	分3 75~100、頓用:25~50/回 空腹時は避ける 分2 SR:食後75	●	●	●	(SRのみ)●	●	(錠のみ)●	(錠のみ)●	(錠のみ)●	(錠のみ)●*	腱鞘炎、変形性脊椎症、神経痛、後陣痛、 骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、 前眼部炎症、歯痛	1990 (SR) (ボルタレン:1974)
				レリフェン [®] (三和化学)	ナブメトン [®] (P)	錠(400)	分1 食後800(増減)	●	●	●	●	●						1990
			インドール酢酸系	インフリー [®] 、インフリーS [®] (エーザイ)	インドメタシンファルネシル [®] (P)	カプセル(100) S軟カプセル(200)	分2 朝夕食後400(増減)	●	●	●	●	●						1991 (インフリー-S:1994)
				クリノリル [®] (田辺工)(杏林)	スリンダク [®] (P)	錠(50,100)	分2 朝夕食直後300(疾患・症状により増減)	●	●	●	●	●					腱・腱鞘炎	1982
				インテバンSP [®] (大日本住友)	インドメタシン	SPカプセル(25,37.5)	分2 SR:SP:50(症状により75)	●△	●△	●△	●△	●△		●	●*		変形性脊椎症、痛風発作、急性中耳炎、 症候性神経痛、膀胱炎、前立腺炎、歯痛、 頸腕症候群、歯槽骨膜炎、多形滲出性紅斑、 結節性紅斑、掌跖膿疱症(いずれも△)	1974
				ジソベイン [®] (田辺三菱)	モフェゾラク	錠(75)	分3 食後225(増減)、頓用:75~150/回(増減)			●	●		●	●			頸腕症候群	1994
		カルボン酸系	アントラニル酸系	ボンタール [®] (第一三共)(ファイザー)	メフェナム酸	カプセル(125,250) 錠(250) 散(50%) 細粒(98.5%)	初回500、以後6時間ごとに250(増減) 空腹時は避ける		●△	●△				●	●*		症候性神経痛、頭痛(他剤が無効な場合)、 副鼻腔炎、月経痛、分娩後疼痛、歯痛(いずれも△)	1966
		塩基性(非酸性)		ソランタール [®] (アステラス)	チアラミド塩酸塩	錠(50,100)	分3 300(増減)			●		●	●	●	●		関節炎、骨盤内炎症、軟産道損傷、乳房うっ積、 帯状疱疹、多形滲出性紅斑、膀胱炎、副睾丸炎、 前眼部炎症、智歯周囲炎	1975

※販売会社ではないが、HP上に添付文書情報が掲載されている販売提携会社

®: ブロドラッグ

●: 徐放剤 (増減): 年齢、症状により増減 (減): 年齢、症状により減量
★急性上気道炎の解熱・鎮痛の用法・用量については未記載

● 急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む
△ 解熱を含む

■ 外傷後ならびに小手術後の消炎・鎮痛
□ 手術後および外傷後の炎症および腫脹の緩解

2009年7月1日現在の各社製品添付文書より作成
詳細につきましては各社製品添付文書をご参照ください。